



千年希望の丘だより

令和3年 3月 第2号



千年希望の丘交流センター
TEL/FAX 0223-23-8577
<https://www.sennenkibounooka.com>

千年希望の丘だより第2号では、令和2年度に行われた千年希望の丘のサポーター活動やトピックスをご紹介します。サポーターの皆様はコロナ禍の中、規模を縮小しての開催や、マスクの着用、三密回避等の感染防止対策をしっかりと取りながら活動を行っていただきありがとうございました。

サポーター活動の紹介

日本たばこ産業株式会社東北支店による育樹活動

令和2年7月にサポーター登録していただいたJTたばこ産業東北支店は8月27日に13名の会員が参加して1回目の育樹活動が行われました。当日は暑さが厳しくマスクをつけての活動は大変でしたが、相野釜公園の除草作業を行っていただきました。今年度は、9月17日に22名、10月15日に17名の参加があり、3回の活動で延べ52名の社員の方々に参加していただきました。



作業開始前に慰霊碑前での集合写真



育樹活動の様子



育樹活動終了後の集合写真

姫路西ロータリークラブによる育樹と記念植樹

9月7日、秋晴れで残暑が厳しい中、兵庫県姫路西ロータリークラブの会員10名で育樹活動と記念植樹が行われました。東北のタブ、アラカシの苗木を姫路市内の幼稚園や小中学校で里親として育ててもらい、千年希望の丘に再び植樹するという活動を続けています。姫路市と岩沼市の絆をつなぐ苗木が成長して森となり、将来人々の命を守ることにつながります。

当日は、地元の姫路ケーブルテレビの取材も行われ植樹の様子が放送されました。



育樹活動を行う会員の皆さん

(一社) 森の防潮堤協会と宮城県立柴田農林高等学校による植樹活動

7月11日・18日、8月8日・22日の4日間、森の防潮堤協会と柴田農林高等学校の生徒らによる園路法面の補植活動が行われました。補植活動は、既に植樹が完了した法面の樹木の生育状況により、苗木を追加して植えていただきました。今回、柴田農林高校の校外学習により4日間で延べ146名の生徒が1260本の苗木を植樹しました。



作業の前の説明



補植活動をする生徒の皆さん

岩沼小学校の4年生が校外学習のため千年希望の丘を訪問

岩沼小学校の4年生の児童たちが、11月10日・12日・16日の3日間にわたり、校外学習で千年希望の丘交流センターと相野釜公園を訪問しました。新型コロナウイルス感染防止対策のため、実施日を3日に分け、また交流センターへの入館も2グループに分けて密にならないように配慮して見学を行いました。

交流センターでは、自分たちが生まれたころに発生した東日本大震災の大津波がもたらした甚大な被害の状況や、震災からの復興の様子、千年希望の丘と園路の津波に対する役割等を防災学習用のDVDや、写真パネルを使った説明を聞いて学習しました。また、実際に慰霊碑や2号丘を見学し、テントが収納された防災四阿の仕組みや、非常時には携帯電話の充電もできるソーラー照明、防災グッズが収納された防災ベンチの説明を聞いて避難丘としての役割や防災機能を学びました。このような取組みにより東日本大震災の記憶と教訓が後世に伝えられ「いのち」を守ることについて考えるきっかけとなれと思います。



防災学習用DVDを鑑賞しながら熱心にメモを取る児童たち



慰霊碑の前で説明を聞く児童たち



2号丘の前での集合写真

ボランティアによる「緑の堤防」づくり

千年希望の丘は、14基の丘を園路（高さ3m）で結び、園路法面に苗木を植樹をすることで、成長した木々が津波被害を軽減します。横浜国立大学名誉教授の宮脇昭先生の「いのちを守る森の堤防づくり」の考え方にに基づき、密植・多種類混植の植樹方法で、約15年～20年で立派な樹木に成長して「緑の堤防」が完成します。津波が来てもその威力を弱めて私たちの命や財産を守ってくれます。2013年の第1回の植樹祭に始まりこれまで5回の大規模な植樹祭が行われました。その後の各種団体等による植樹も含めて、約335,000本の苗木が植樹されました。

	開催年	場所	参加人数	植樹本数
第1回植樹祭	2013年	相野釜公園	4,500	30,000
第2回植樹祭	2014年	相野釜公園	7,000	70,000
第3回植樹祭	2015年	二野倉公園	6,000	50,000
第4回植樹祭	2016年	長谷釜公園	12,000	100,000
第5回植樹祭	2017年	新浜公園	4,000	30,000



植樹を行ってから6年後の園路法面の様子。樹高は3～5mくらいになっています。（相野釜公園）



園路に植樹された樹木



モチノキ



タブノキ



ヤブツバキ



シロダモ



ヒサカキ



シラカシ



アラカシ



アカガシ



ネズミモチ



コナラ



マサキ



アオキ



ウラジロガシ



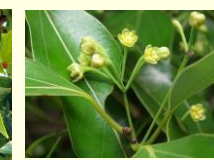
ヤツデ



スタジイ



エノキ



ヤブニッケイ



シャリンバイ



トベラ



ヤマザクラ



アキグミ

横浜ゴムMBジャパン株式会社東北カンパニーによる育樹活動

9月19日に育樹活動を計画していましたが、荒天により、急遽交流センターでDVD鑑賞による防災学習を行いました。10月31日に改めて活動を計画し実施しました。当日は天気恵まれ19名の参加があり、育樹活動を行いました。



育樹活動を行う参加者の皆さん



作業後の集合写真

JP労組仙南支部による育樹活動

JP労組仙南支部は、今年度9月20日と12月13日の2回で延べ20名が参加して活動を行いました。



育樹活動を行うJP社員の皆さん



作業終了後の集合写真

宮城県農業高等学校科学部が開発した「玉夢桜」が新品種に認定

同校は2011年に発生した東日本大震災直後より復興のシンボルとして桜を使った活動を行っており、2015年に千年希望の丘二野倉公園の1haの面積に145本の桜の苗木を植えて桜広場をつくりました。また2018年に千年希望の丘のサポーター登録を行い、二野倉公園、相野釜公園の桜広場の植樹、育樹活動を行っています。

桜は塩害に対して「やや弱い」品種に属するため震災直後から耐塩性の高い桜の開発を行っており、2012年にオオシマザクラを母親として塩釜神社境内にある「手弱女桜」（タオヤメザクラ）を人工交配して新品種の桜を誕生させました。この新品種の桜は岩沼市の集団移転事業で整備された「玉浦西地区」の名前と、早期復興を成し遂げ自分たちの「夢」を実現させてほしいという願いを込めて「玉夢桜」（タマユメザクラ）と命名されました。「玉夢桜」は2020年8月11日に（公財）日本花の会より正式に新品種として認定を受けました。そして9月1日に認定報告会が岩沼市役所で開かれ共同で新品種の申請をした玉浦西まちづくり住民協議会の森会長らも同席されました。森会長は「桜を大事にして夢のある町内にしたい。」と話されました。

すでに「玉夢桜」はいくつかの団体から注文が来ており、実証実験を継続しながら苗の生産を行っています。



「玉夢桜」を相野釜公園2号丘の南側通路脇に植樹。（企業版ふるさと納税記念植樹）



認定証を菊地市長に披露



市役所で開かれた新品種認定報告会

新型コロナウイルスの感染防止のため、開館に際しては、同時に入館できる人数を20名に制限、座席の間隔をあける、館内の換気の実施などの3密を回避する対策を行っており、更に入館者にはマスクの着用と入館者カードの記入、手指の消毒をお願いして入館される方の安全に配慮しております。感染防止対策へのご協力をお願いいたします。

JP労組仙台東南支部、JP労組西尾張支部のサポーター活動

11月14日、JP労組仙台東南支部とJP労組西尾張支部が合同で育樹活動を行い19名の方が参加しました。また当日は桜とキンモクセイの植樹も行いました。



作業開始前に慰霊碑前での集合写真



植樹を行うJP社員の皆さん

（公財）鎮守の森のプロジェクトによる種子採取の活動

鎮守の森のプロジェクトでは、その土地にあった苗木を植えるために、植樹地の近くで自生している種子を採種して苗木に育て植樹する活動を行っています。今年度は10月31日に千年希望の丘1号丘の北側で行われ、宮城県内を中心に44名の参加があり、マサキ、ネズミモチ、トベラなどたくさんの実を集めました。



実を採取する参加者の皆さん



作業終了後の集合写真

（一社）千年希望の丘協会による花壇整備活動

11月1日、千年希望の丘協会の皆さんにより、相野釜公園の花壇にピオラ、なでしこ、ノースポールの3種類、約350本の花の苗木を植えていただきました。どの花も耐寒性があり、冬季でも開花して私たちの目を楽しませてくれます。花壇は千年希望の丘交流センターの南側にありますので、ぜひ皆さん見に来てください。



作業を行う会員の皆さん

大成設備株式会社による植樹・育樹活動

10月2日、大成設備株式会社の社員22名が相野釜公園で植樹・育樹活動を行ないました。今回は東京本社の新入社員研修を兼ねた活動で、新入社員19名が参加しました。当日は育樹活動を行った後、タブノキ、松など50本の補植を行い、また昼食後、交流センターでDVDによる防災学習も行いました。また、9月5日の活動には仙台支店以外の参加もあり総勢41名の方が育樹活動を行いました。



作業開始前に2号丘前での集合写真



専門家の指導を受けながらの植樹活動



作業後、交流センターでDVDを鑑賞しての防災学習

丘番号変更に伴う看板表記等の修正について

11号丘を当初計画から削除して、丘14基の全体計画に変更した結果、令和2年12月に園内に設置している看板の表記の変更を行いました。丘番号は以下の図のように⑫→⑪、⑬→⑫、⑭→⑬、⑮→⑭号丘に変更されています。

